

特31

460

卷五

中國

山陰道

山陽道

改正日本地誌要畧

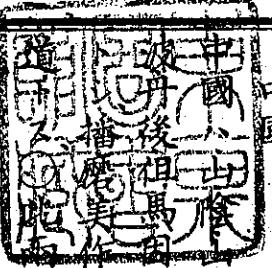
大槻修三著述
訂正再版

五

特31 460 J217847/22

改正日本地誌要略卷之五

東京 大槻修二著



中國

陽ノ兩道ヲ泛稱スレバ、蓋轉訛ニ係レリ。丹
 幡伯耆出雲石見隱岐ノ七國一嶋ヲ山陰道
 備前備中備後安藝周防長門ノ八國ヲ山陽
 道ハ畿内ノ西ニ接シテ、西ニ赴ク一百三十
 里而テ左右皆海ナリ、其端ハ南ニ向ヒテ、九州嶋ト赤間海
 峽ヲ夾ム、大山脈ノ東北ヨリ來ル者ハ、其中央ニ連リテ、海
 峽ニ盡ク、即全國ノ背脊ニ亘ル連山ニシテ、其陰陽ニ依リ
 テ、此兩道ヲナス。丹波美作ハ、山間ニ在リテ、其ニ海ナキ國

改正日本地誌要略卷之五

シテ、斜ニ國ノ中央ヲ貫キ、西北ニ流ル、一二十里、其間ハ舟行ヲ通ズベシ、出羽熊見、矢上市、木ノ諸川、悉會流シテ、其海口ヲ渡津ト云フ。○高津川ハ、廣瀨津和野ノ兩川、相合ヒテ、西南隅ヲ流ル、一十五里、高津山下ニ到リテ、海ニ入ル。此國ノ海濱ハ、岩礁相連リタル荒磯ニシテ、小嶼數十並ビ時ツ、其中央ニ立チテ、漸遠キ者ヲ高嶋ト云フ。○港灣ハ、外浦ヲ第一トス、瀨戸嶋、箭野嶋、馬嶋、其前面ニ並ビテ、灣ノ南岸ヲ濱田ト云フ。國ノ大邑ニシテ、松江ハ三十六里アリ、又山陽ノ通路ハ、市木出羽ノ兩道アリテ、其ニ安藝ノ廣嶋ニ到ル、二十六里ナリ、長濱浦ハ、榮螺崎ヲ隔テ、濱田ノ西ニ接シ、瀨戸嶋ニモ、小灣アリテ、三處皆碇泊ノ便アリ。○温泉

津ハ、浴場アリテ、且港泊ノ地タリ、其地ハ、邇摩、銀山、及大森町ニ接シテ、礦場ノ出入ハ、皆港内ニ送致スト云フ。○津和野ハ、西隅ノ一邑ニシテ、濱田ト相距ル十九里、河岸ニ沿ヒテ、長門ノ通路アリ、而テ周防ノ山口ニ達スルハ、十一里ナリト云フ。

隱岐 四郡

一國四嶋ニシテ、出雲ノ正北海上十餘里ニアリ、南ノ三嶋ヲ嶋前ト總稱ス、知夫里嶋ハ、周回七里、西嶋ハ、二十里、是ヲ知夫郡トス、中嶋ハ、沿回十六里ニシテ、海士郡ナリ、北ノ大嶋ハ、周吉穩地ノ兩郡ニシテ、其周回ハ三十里、是ヲ嶋後ト呼ブ、前後相距ル四里、群嶋其間ニ並ビテ、松嶋稍大ナリ、其

日本列島要略 卷之五 隱岐

古立日本地誌要略 卷之五

他ハ大森音部ニ股星上等ノ諸嶋ニシテ、其數ハ大小一百八十嶋アリ、總テ隱岐小嶋ト呼ベリ、知夫里ハ、最南ノ一嶋ニシテ、南岸ノ知夫里港ハ、出雲ノ美保關（海程十四里アリ、嶋ノ西北ハ、赤灘瀨戸ヲ以テ、西嶋ニ接ス、峽際最狹シ、○西嶋ハ、兩地ニ分レテ、船越ノ地狹相連ル、其西ニ浦郷港アリ、燒火山ハ、東地ノ南岸ニ立チテ、其麓ヲ大山脇ト稱ス、此嶋ハ後醍醐帝ノ行宮跡アリテ、今尚黒木御所ノ名ヲ存セリ、○中嶋ハ、後鳥羽帝ノ崩處ニシテ、森里ニ御陵地アリ、知々井崎ハ、嶋ノ東端ニアリテ、岬側ノ小灣モ亦知々井港ト呼ブ、大満寺大峯ハ、嶋後ノ大山ニシテ、又摩尼山トモ云フ、葛尾

山横尾山等、相並ビテ、全嶋皆山ナリ、其山際ニ太平山ノ鐵坑アリ、又西南ノ溪間ニ、壇鏡那知ノ兩瀑布アリテ、直ニ海ニ注ギ、八尾川ハ、大峯ヨリ出デ、西郷港ニ入ル、○此嶋ノ四面ハ、大率岩礁斷崖ニシテ、岬角モ亦多シ、白嶋鼻ハ、北角ニシテ、西ニ那久崎アリ、東南ニ西郷崎アリ、西郷港ハ、嶋中ノ良灣ナレバ、隱岐港ノ稱アリ、灣口東南ニ向ヒテ、美保關ニ到ル舟路十八里アリ、此他ノ港泊ハ、南岸ニ加茂箕浦アリ、西岸ニ福浦アリ、此國ハ日本海中西邊ノ絶嶋ニシテ、其西北海上ニ松嶋竹嶋ノ兩嶋アリ、相隔ル殆一百里ニシテ、朝鮮ニテ蔚陵嶋ト稱ス、近來定メテ其國ノ屬嶋トナスト云フ、

文正日本地誌要略 卷之五 隱岐 六

改正日本地誌要略卷之五

改正日本地誌要略卷之五

明治十五年七月廿日版權免許 明治十九年五月廿日出版納本

明治廿三年六月七日訂正再版御届

每冊定價金拾五錢



著作者

東京府平民

大槻修二

東京府海軍區北區板橋區板橋五番地

發行者

大阪府平民

柳原喜兵衛

大阪府東區茶臼町四丁目三番番屋敷

發行者

大阪府平民

三木佐助

大阪府東區北區堂島町四丁目番番屋敷

發行者

大阪府平民

岡島真七

大阪府東區本町四丁目百四拾五番番屋敷

印刷者

中村卯之助

大阪府東區唐物町四丁目番番屋敷

